

没後40年 鴨居玲展 第2弾

写真の中の 鴨居玲

内なる Camoy 外なる Camoy

富山栄美子撮影



Rey Camoy in Photographs

2026 **4/25** sat — **5/24** sun

会期中無休 9:30 — 18:00 (入館は17:30まで)



観覧料 / 一般800円(600円) 大学生600円(500円)

*高校生以下無料 *2階コレクション展観覧料を含む *()内は65歳以上の方および20名以上の団体料金

*身体障がい者・精神障がい者保険福祉・療育手帳をお持ちの方、またはミライロIDをご提示の方、および付き添いの方1名は観覧無料

石川県立美術館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

主催 / 石川県立美術館、北國新聞社 協力 / 公益財団法人日動美術財団

後援 / NHK 金沢放送局、MRO 北陸放送、テレビ金沢、HAB 北陸朝日放送、石川テレビ放送

鴨居玲《おばあさん》1973年 油彩 / カンヴァス 石川県立美術館蔵

写真の中の 鴨居玲

内なる Camoy 外なる Camoy

富山栄美子撮影



絵を描くひと、絵になるひと

鴨居玲(1928~1985)は絵を描くひとであり、絵になるひとでもありました。画家・鴨居玲の半生を記録した写真集『鴨居玲』(富山栄美子撮影/1995発行)に掲載された写真に、未発表を加えた約90点の鴨居玲のポートレートと、30点超の鴨居作品、豊富な資料で鴨居玲の魅力を紹介します。「作品は全て自画像」とされ、そのため鴨居ほど作品と私生活やパーソナリティを重ねられる作家は稀でしょう。生前を知る人は、口々に彼のかっこよさや人となりを語り、いかに彼に魅了されたかを伝えます。しかし人気作家の華やかさとは裏腹に行き詰まりを抱え、1985年に57歳で逝ってしまいます。そのような鴨居玲を15年以上にわたり撮り続けたのが、フォトグラファーの富山栄美子です。1971年にスペインで「これからは私だけを撮り続けてもらえないだろうか。」との鴨居の言葉を受け、一人の画家の生涯を撮り続けることとなります。ファインダー越しの鴨居玲は気取っていたり、おどけていたり、苦悩していたりと様々な表情を見せます。鴨居作品に通底する「人間とは」との問い。鑑賞者それぞれの答えを見つける時間となれば幸いです。

Rey Camoy in Photographs



未公開を含む90点のポートレートと、30点を
超える油彩画、素描に習作・未完品、資料で
鴨居玲の人物と生涯をみつめます。

- 1.《教会》1973年 個人蔵
- 2.《出を待つ(道化師)》1984年 個人蔵

その他の出品予定

《観音像》1949年 北國新聞社蔵、《食事》1970年 個人蔵、
《石の花》1979年 石川県立美術館蔵、《1982年 私》1982年
石川県立美術館蔵、《望郷を歌う(故高英洋に)》1982年
石川県立美術館蔵、ほか

●ギャラリートーク

担当学芸員が展覧会のみどころを 紹介します。

日時：5月3日(日・祝)、10日(日)、
17日(日)、24日(日)
各日13:30~(30分程度)

会場：企画展示室

*要観覧料、申込不要

●土曜講座

担当学芸員が展覧会に関わる講座を行います。

- ①5月16日(土)
「鴨居玲小話(仮)」
- ②5月23日(土)
「鴨居玲 魅惑の理由」
各日13:30~15:00 講義室

*聴講無料、申込不要

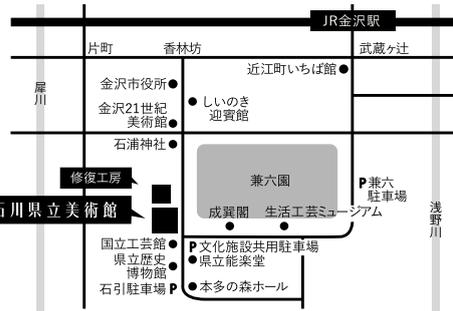
●コラボスイーツ

好評につき、館内カフェ「ル ミュゼドウ
アッシュ KANAZAWA」にて鴨居玲
スイーツの第2弾を企画中です。乞う
ご期待。



セット割引券をお持ちの方は、お忘れなく

没後40年展第1弾(2月11日~3月15日、石川県立美術館)の観覧券に
付帯していた割引券で、本展に団体料金で入場できます。



同時開催

- 2階コレクション展 4月19日(日)~6月1日(月)
- 前田家歴代の肖像画 ●前田利家とその時代
- 没後50年 南政善 ●軸下彩のわざ

